

令和7年度事業報告

令和7年度は、昭和元年から100年目、そして終戦から80年を迎える節目の年となります。コロナ禍収束から2年が経過し、平時の社会経済活動への移行も大きく進展しているものの、コロナ禍前に比較すると本会シルバー事業における受注状況は緩やかな改善傾向となっています。また一昨年、5年ぶりに増加に転じた会員数が、7年度には一転し減少に転じています。

国の情勢においては、政治的な情勢に大きな変動が見られました。夏の参院選では、自公過半数割れによる歴史的敗北を喫することになりますが、憲政史上初めて女性首相が指名されることとなり高市内閣が発足しています。その後、実施された衆議院議員選挙では自民党の歴史的圧勝となっています。スポーツ界においては、冬季コルティナオリンピックにおける日本人選手団の活躍には、目を見張るものがありました。冬季五輪におけるメダルの過去最多獲得数18個を、大きく上回る24個という結果を持ち帰っています。

また、令和7年度の年平均気温偏差（1月～11月）では、2024年、2023年に次いで3番目に高い値になると見込まれています。さらに、夏平均気温偏差（6月・7月）では、統計を開始した1898年以降最も高い気温を更新しています。このような状況を踏まえ、これまで以上に本会における屋外等での作業時においては、熱中症対策等を充分に行ったうえで作業にあたることが重要です。

I 事業の概要

令和7年度における経営状況は、僅かではありますが対前年で契約金額が増加しています。しかし、正味財産増減計算書（以下「計算書」という。）では、令和8年1月より公共事業を中心に包括的契約への切り替えに着手したため、これまで経常収益の受取配分金が流動負債の預り金処理正となるため、計算書では対前年で減少の表示となっています。なお、包括的契約への切り替えにより預り金に計上することとなった金額を含めた請負委任の契約金額については、次表「(4) 契約金額」中、「配分金」の額となり、配分金で対前年比101.4%となっています。なお、当期一般正味財産増減額においては1,585千円の減となり、一般正味財産期末残高は10,091千円となりました。主な要因としては、経常費用の増加に繋がった新体制に伴う職員の増員並びに役員報酬、費用弁償及び職員旅費に関する規程の改正に伴う、人件費、旅費交通費、役員報酬の増加に加え、事業経費としてのエイジレス機器の増設及びシルバー会報の全戸配布の実施が考えられます。

事業実績では、7年度末の会員数で対前年度14名減の284人と、5年ぶりに増加に転じた昨年度から一変し、再び減少に転じました。全国的に抱える会員減少の課題においては、新たな取り組みが必要と考えます。また、受託事業（請負・委任）及び派遣事業では、契約金額ベースで請負・委任が1,755千円（1.3%）、派遣が4,164千円（8.9%）と、昨年度の伸び率を下回るものの増加傾向を継続し

ています。

最後に、本町の令和 8 年 3 月 31 日現在の人口は、18,398 人（男性 8,918 人、女性 9,480 人）で 60 歳以上の人口は、8,685 人、会員数は 284 人、粗入会率は 3.27%となっています。

令和 7 年度の実績は、次のとおりです。

（１）会員数の状況

（単位：人）

区分	6 年度末会員数	7 年度入会員数	7 年度退会員数	7 年度末会員数
男性	1 7 2	1 1	1 8	1 6 5
女性	1 2 6	6	1 3	1 1 9
合計	2 9 8	1 7	3 1	2 8 4

（２）受注件数

（単位：件）

区 分	請 負・委 任	派 遣	合 計
令 和 7 年 度	2,426	63	2,489
令 和 6 年 度	2,515	61	2,576
前 年 度 差 異	△89	2	△87
対前年比	96.5%	103.3%	96.6%

（３）就業延人員

（単位：人日）

区 分	請 負・委 任	派 遣	合 計
令 和 7 年 度	30,185	9,163	39,348
令 和 6 年 度	30,057	8,572	38,629
前 年 度 差 異	128	591	719
対前年比	100.4%	106.9%	101.9%

（４）契約金額

（単位：千円）

請 負・委 任 契 約 金 額				
区 分	配 分 金	材 料 費 等	事 務 費	計
令 和 7 年 度	118,734	1,897	16,810	137,441
令 和 6 年 度	117,049	2,555	16,082	135,686
前 年 度 差 異	1,685	△658	728	1,755
対前年比	101.4%	74.2%	104.5%	101.3%
派 遣 契 約 金 額				合 計
区 分	賃 金	手 数 料 等	計	
令 和 7 年 度	38,857	11,994	50,851	188,292
令 和 6 年 度	35,620	11,067	46,687	182,373
前 年 度 差 異	3,237	927	4,164	5,919
対前年比	109.1%	108.4%	108.9%	103.2%

事業実績の増加傾向を踏まえ、これからの地域住民や各社の需要に応えるためにも、会員の拡大が必要不可欠であるとともに、会員拡大後の対応として就業機会の確保が重要となります。

引き続き、高齢者が有する経験と能力を活かし、地域社会で活躍する場を提供するとともに、生きがいの充実や健康の保持・増進、社会参加等、現役を引退した後も、就業等を通じて地域社会での「居場所」や「出番」が得られることを目指し、シルバー事業の普及啓発と就業機会の開拓・確保、就業形態の多様化に伴う適正就業の推進、ボランティア活動など、積極的に事業を展開していく必要があります。

Ⅱ 実施状況

1 会員の拡大のための対応

- (1) 広報委員会を4回開催のうえ、センター会報「シルバー庄内（第18号）」を7月1日に発刊しました。今年度から町内の全戸に対し配布し、会員のみならず多くの方々に本会の魅力等を伝え、会員拡充に取り組みました。
- (2) 町広報「しょうない」及び「庄内日報」に、会員募集等の広告を掲載し広く町内に呼びかけを行いました。
- (3) 連合会が実施する普及啓発事業オリジナルカレンダー作成事業における募集写真において、南野「瀬川 昭 氏」の写真が令和8年度版オリジナルカレンダーに採用されました。
- (4) 役職員による新規会員の勧誘とともに、センターに興味を持っている方に対しては、事務局での常設窓口による積極的な説明・勧誘を行いました。
- (5) ホームページによる情報発信を実施しました。

2 就業機会拡大のための対応

- (1) 安全就業並びに就業率の向上を図るため設置した職群班を活用し、就業の平準化並びに未就業会員の解消に努めました。さらに、12月23日には、日頃から抱える課題解決のため職群班班長会議を開催しました。
- (2) 町広報「しょうない」、町議会だより、県民のあゆみ及び余目地域における「コミュニティしんぶん」の配布は継続的に取り組んでいます。
- (3) 「在宅高齢者軽度生活援助事業」の拡大・継続に取り組んでいます。
- (4) 参議院議員選挙及び町長選挙並びに衆議院議員選挙ポスター掲示板の設置撤去に取り組みました。
- (5) 昨年に引き続き、需要に応じた門松の制作に取り組むとともに、庄内町役場及び庄内町社会福祉協議会に寄贈しています。
- (6) センター会員の専用サイト「smile(スマイル) to(と) smile(スマイル)」のサービス運用とともに就業機会の拡大に努めました。

3 安全・適正就業の推進のための対応

- (1) 安全・適正就業委員会を開催し、会員の就業中及び就業途中における事故

防止対策を図るとともに、安全・適正就業委員による安全パトロール（就業現場巡回指導）を実施し、就業現場の安全対策の強化に努めました。

- (2) 事故防止、安全就業に努めましたが、請負・委任事業で傷害事案が 5 件、物損事案が 5 件発生しており、うち 9 件は保険金支払が終了しています。なお、派遣事業において労災保険適用事故はありません。
- (3) 安全・適正就業強化月間において、安全就業に関する標語の募集を行い、会員 3 人から 9 点の応募があり県連合会に報告しています。その結果、昨年度に続いて新広町の「齋藤貴士 氏」が入選され、10 月 10 日に開催された安全就業推進大会に本会役員とともに参加いただき受賞されています。

4 組織・運営基盤の確立と事務局体制の整備充実

- (1) 会員等が就業体験（職場見学）を実施した際には、各センターに交付される高齢者活躍人材確保育成事業や連合交付金並びに町補助金の確実な申請・報告と拡充に努めました。
- (2) 役職員は自己のスキルアップのため、連合会等が主催する各種大会や研修会等に積極的に参加しました。
- (3) インボイス制度とフリーランス新法に対応した新契約方式への移行については、令和 8 年 1 月より公共事業を中心に着手のうえ切替しています。

5 事務所移転の課題調整と推進

事務所移転については、令和 6 年度に実施した事務所移転説明会及び同アンケートの実施を踏まえ、令和 7 年度第 13 回定時総会において移転の必要性から、新事務所の機能、基本方針等を報告するとともに、会員との意見交換等を通し合意形成を図りました。

6 ボランティア活動の推進

社会参加・社会貢献活動を通して地域社会に奉仕し、町民から親しまれるシルバー人材センターの実現を目指し、7 月 10 日(木)に総勢 42 名の会員及び関係者参加のもと、余目八幡公園周辺、障害者多機能型施設ひまわり園及び JR 狩川駅において、草刈り、草取り、剪定作業等を実施しました。

7 要望活動の実施

全国シルバー人材センター事業協会の要望書とともに、本会が掲げる決意と支援に係る要望書を手交により提出し、庄内町長、庄内町議会議長及び庄内町役場担当職員との話し合いを実施しました。特に、独自要望書では継続要望である町補助金の増額と新たな事務所の確保について意見交換を行いました。

8 理事会等の開催

シルバー人材センターの業務執行等を審議するため理事会 4 回、三役会議 16 回、広報委員会 4 回、安全・適正就業委員会（班長会議）2 回、諸課題検討委員会 4 回及び事務局会議を随時開催しました。